

令和5年4月7日

## 令和5年度小見川中学校の学校経営について

香取市立小見川中学校  
校長 栗 芝 博

こんにちは。今年度3年目も引き続き小見川中学校の校長を務めさせていただきます、校長の栗芝博と申します。保護者・地域の皆様には、これまで同様、本校教育に対する御理解と御支援をよろしくお願いいたします。

さて、令和5年4月3日、11名の転入職員を迎えて今年度がスタートしました。ここでは、第1回目の職員会議で私から本校職員に話した内容を中心に、令和5年度の学校経営について述べさせていただきます、校長あいさつとさせていただきます。

まず、令和5年度の「学校教育目標」「めざす生徒像」「めざす学校像」は、昨年度に引き続き以下のように設定いたしました。

### 1 学校教育目標

未来を切り拓く力を身につけた思いやりのあるたくましい生徒の育成  
～ 文武両道の教育実践をとおして ～

### 2 めざす生徒像

- 自ら学び、よく考える生徒
- 明るく、思いやりのある生徒
- じょうぶで、たくましい生徒

### 3 めざす学校像

- 明るい挨拶と歌声の響く学校
- 文武両道で生徒を育てる学校
- 保護者、地域から信頼される学校

私は、学校教育の場は「人づくり」の場であると考えます。私たち小見川中学校職員は、授業、部活動、学校行事、その他すべての教育活動をとおして生徒を育てます。このことは、教育基本法の第1条にも「教育は、人格の完成を目指し・・・」と記されているとおりです。具体的には、将来、生徒たちが社会に出たときに、周りの人たちと協調しながら、自立（自律）して充実した人生を送るための、人としての基礎づくりであると捉えています。

生徒たちがこのような人として成長していける基礎を培うために、今年度は以下のことを重点とし、学校経営を進めてまいります。

○すべては信頼関係から ～日々の信頼貯金～

- ・生徒からの信頼、同僚からの信頼、保護者・地域からの信頼

○まずは教師から（率先垂範）

- ・教師である前に、まず一人の自律した社会人でありたい。
- ・一人一人の生徒と「人対人」として誠実に向き合う人間性。
- ・生徒の成長に喜びを感じる感性。
- ・自ら成長しようとする意欲。

○授業の充実（今年度は昨年度以上にここを頑張ります）

- ・生徒たちに何を身につけさせたいのかを明確にした授業の実践。
- ・念入りな教材研究
- ・組織的な職員相互の授業参観
- ・外部指導者の積極的な導入

○生徒指導の徹底

- ・あいさつ、黙動清掃、くつをそろえる。

○学校行事の充実

- ・学校行事を利用して生徒を育てる。

○部活動の充実

- ・文武両道で生徒を育てる学校
- ・勝つことが最終目的ではなく、人づくりを念頭に置き指導の過程を大切にする。

○地域に開かれた学校

- ・学校ホームページの内容の充実と継続。
- ・積極的な学校公開等。

最後に、令和5年度は、コロナ禍から再スタートの年と位置づけております。世の中も学校も全てが一変してしまったここ数年のコロナ禍ではありましたが、昨年度からは「3年ぶり」を枕詞に学校行事の再開など学校生活が元に戻りつつあります。

昨年度は本校でも、体育祭を1日開催に戻したり、ほぼ全ての学校行事を実施しました。3月に実施した卒業式では、保護者の人数制限もなくし、御出席頂いた皆様からは、とても感動したなど多くのお褒めの言葉をいただきました。

今年度は、昨年度を基準として、すべてをこれまで以上にレベルアップさせていく年です。小見川中学校全職員が一丸となって努力して参りますので、保護者・地域の皆様には、これまでと変わらぬ御理解と御支援をお願いいたします。